

学習障害のある児童生徒等に対するICTを活用した効果的な支援に関する実践研究

南丹市教育委員会

早期発見・早期支援

- ◎一人一台端末も活用し学習上の困難等を早期かつ客観的に把握

- ◇紙、デジタル版の
アセスメントツールの活用
- ◇チェックシートの活用
- ◇アセスメント力の向上
- ◇市内の学校への積極的な発信



南丹市立
各中学校

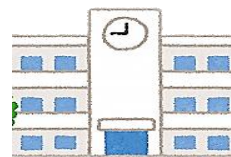
成果
波及

指導助言

「多様性を包摂する学校教育の実現」

研究実践校

- 【A小学校】
- 【B小学校】
- 【C小学校】
- 【D小学校】
- 【E小学校】
- 【F小学校】
- 【G小学校】



小学校通級指導教室

研究
推進

企画会議

専門家
校長
特別支援C o.
教育委員会事務局



<専門家>

- 東京大学先端科学技術研究センター
近藤 武夫 教授

<京都府>

- 京都府南丹教育局
- 京都府総合教育センター
- たんば地域支援センター
- 京都府スーパーサポートセンター

効果的なICT活用

- ◎一人一台端末のアクセシビリティ機能
(読み上げ機能、音声入力等)
ICT機器の積極的な活用
- ◎児童生徒等の学習意欲の向上
- ◎教職員の指導力向上

◇指導方法の工夫改善

◇教職員の研修の充実

◇支援につなぐための校内体制構築

令和8年度

- ★チェックシート、紙、デジタルアセスメントツールによるアセスメント研究
- ★学習障害のある児童に対するICT活用導入に向けた校内委員会の体制づくり

令和9年度

- ★セルフアドボカシーを尊重し、児童が自己の学び方を選択できるための支援方法の研究

